

2年学年通信

平成29年12月20日(水)
文責 柳原 隆史

◎ 校長先生からのアドバイス

面接を通して、以下のアドバイスが伝えられました。

☞ 受け答えははっきりとハキハキと。

せつかく、言っていることがすばらしくても、面接官にその声が届かなければもったいない。大きな声でゆっくりと相手に届くようにこたえること。

☞ 語尾をはっきりと。

「私は～です。」の「です。」の部分をはっきりと言い切って、相手に自分の回答が終わったことを伝えること。

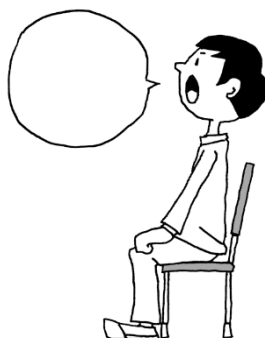
☞ 質問に答えていないときも緊張感を持って。

面接官は複数います(今回は校長先生、学年主任、担任が担当しました。)。自分が答えていないときは他の面接官が見ています。緊張感を解かないように。

☞ 自分に素直に。

わからないことがあれば「わかりません」。聞こえにくかったら「もう一度質問を教えてください。」と伝えましょう。よくないのはその場でとりあえず取り繕って答えないこと。自分に素直に、答えることをこころがけること。

次の面接は3年生です。3年生の面接では本番に近い形をとりますので、より厳しいものになります。校長面接で受けたアドバイスを忘れず、よりよい姿勢でとりくみましょう。



◎ 校長面接での宿題

校長面接の最後に2年生全員に宿題が出されました。

みなさんはおぼえていますか？それは

「どうして、事業所の方々は職場体験で中学生を受け入れてくれるんだろう。それを考える。」

事業所にとって中学生を受け入れることは、丁寧に仕事を教えなくてはいけない、ケガや事故がないように配慮しなければならない。そのことによって日常の業務にさらに仕事が増えることになりますね。またそれによっておそらく、給料が上がることはありません。けれども「どうして、事業所の方々は職場体験で中学生を受け入れてくれるんだろう」それを考える。これが宿題でした。

職場体験の取組みは大東市の8中学校すべてで行なわれています。また、大阪府下の中学校の多くでも行なわれていますし、全国的にもされています。地域によっては1週間も職場体験をすることもあるようです。全国の多くの事業所で中学生が受け入れられています。それはなぜなのでしょう？

この宿題のねらいは、相手がどのようなことを思っているかを考えることです。あなたが考えることができ、それを理解し、それに対して行動することができたとき、2段も3段も成長することができます。

この宿題の提出先は担任の先生。

提出日は職場体験のまとめの日。

事業所ごとに発表も行なう予定です。しっかりと宿題を受け止めて答えを探しましょう。

